



あゆみ

J C H O
二本松病院

二本松市成田町1-553
TEL.0243-23-1231
FAX.0243-23-5086
<http://nihonmatsu.jcho.go.jp>
発行者:あゆみ編集委員会



新年を迎えて

院長 六角 裕一



明けましておめでとうございます。

JCHO二本松病院となって4回目のお正月です。今年も皆様のためにしっかりと仕事をしていく所存でございますので、よろしく願いたします。

さて、昨年のことを振り返ってみますと、ずっと世界の不安材料になっていたISをようやく壊滅できるかというところまで来ました。しかし世界中にIS信奉者が散らばり、テロリストが各地で事件を起こしており、やはり今でも安心できる場所はないようです。

一方北朝鮮はミサイル発射や核実験を繰り返しており、日本の大きな脅威となっています。そしてアメリカのトランプ大統領はエルサレムをイスラエルの首都と認めるといったような発言をして、これもまた中東をはじめとして世界中の紛争の種になっていきそうです。

さて当院は社会保険病院からJCHOになったわけですが、そのあいだ訪問看護を充実させ、訪問リハビリを開始、産後ケアセンターを開設してきました。そして昨年は二本松市の委託を受けて、地域包括支援センターを開設いたしました。

た。これによって現在構築中の地域包括ケアをさらに進めていけると考えております。

団塊の世代が75歳以上になる2025年まであと7年となりました。その2025年には65歳以上のかが3657万人、75歳以上が2179万人と予測され、65歳以上の人が全人口の30%以上になるとされています。認知症の高齢者も増加するし、世帯主が65歳以上の単身世帯や夫婦のみの世帯が増加していきます。その結果、2025年以降は国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。

それに対して医療や介護が必要な高齢者を支える若者は増えてきませんし、特にこの地域のような田舎ではその傾向が顕著ですので、この地域を誰かが何とかして支えていかなければなりません。

わたくしたちJCHO二本松病院は地域に密着して地方自治体や地域社会、医師会、介護などとの連携を強め、地域包括ケアの一翼を担う存在となり、この地域を支えていかなければならないと考えておりますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成30年 新年の抱負

昨年は、2年間の通信教育を受け看護師の資格を取得することができました。また、異動で老健から病棟勤務となり、学習したことが活かされています。今年も色々な事に挑戦し、看護観を深め少しでも病院のため・地域のために貢献できればと思います。公私共に充実し、笑顔多き一年にしたいと思います。

4階病棟看護師
添田 きよ美

3回目の成人式を迎えます。今年はず、心も体も健康でいられるよう努力していきたいと思っています。ガーデニング・読書で趣味の時間を充実させ、仕事では患者さんに寄り添い、真摯に関わり勇往邁進していけたらと気持ちは大きく意気込んでおります。

腎センター看護師 嶋原 君子

春に地域連携室へ異動となる等、昨年は様々な環境の変化があった一年となりました。仕事・育児・家事で毎日あっという間に過ぎ、一日一年と過ぎるのが本当に早く感じられる年齢となりました。「時は金なり(命ある以上、時間も決して無限ではなく、有限で貴重なもの)」という諺があるように、毎日一分一秒と充実した日々を送れることを幸せに感じています。

今年も様々なことを勉強させていただきながら、充実した一年を過ごしていきたいと思っています。

介護支援専門員 加藤 瞳

介護の仕事始めて今年で17年目。入社した頃は施設内を駆け回っていただけでしたが、今年は利用者さんの思いに沿った介護に少しでも近づけるよう努力し、オンリーワンな良い年になるよう頑張りたいと思います。

介護福祉士
鈴木 ひとみ

去年は色々な面で挑戦した年でした。周りの職員の方々にも協力していただきながら初めての研究を行い、毎日目標をもって励む事ができました。今年も沢山目標をもって、体を大事にして笑って過ごしていける年にしたいと思います。

介護福祉士 秋元 希望

何度目かの年男。今年こそランニングを再開したいと思います。数年前、当時小学2年生の息子と手を繋いでゴールする4kmペアマラソンに出場したときに「父さん遅い！来年は1人で出る！！」と、言われた屈辱を晴らしたいと思います。

事務長補佐 米川 真也

昨年は、関係部局の皆様には診療報酬算定業務等で色々ご協力を頂きましてありがとうございました。

今年の抱負としては、ポジティブシンキングで前向きに明るく元気に頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

…ワンダフルな1年になりますように!!

事務職 大平 美奈

一本松病院老人保健施設に勤務して今年で5年目です。新年の抱負は、言葉使いに気をつけて仕事に臨むということです。基本ですが、利用者やご家族の方々と関わる時は特に意識したいと思います。そして笑顔で仕事に臨み、皆に慕われる介護福祉士でありたいです。

介護福祉士 小室 祐季

毎日の忙しさに負けず、今年も患者さんが安心して入院生活を送れるような看護をしていきたいと思っています。また、入院生活を終えた後も安心して生活できるように退院後の生活についても考え、病棟スタッフや他職種の方々と協力していきたいと思っています。

5階病棟看護師 伊藤 和美



平成29年度緩和ケア強化月間研修会開催

平成29年度も緩和ケア強化月間研修～命をみつめる～を開催することができました。

この研修会は、

- 患者だけでなく、患者を取り巻く家族の想いを反映させた看護・介護を実践する。
- 職種の役割を相互に理解し、患者の人生を専門的視点から総合的に支援できる力を養う。

という目的のもと、平成22年度から毎年12月に開催しております。

今年度は、福島県立医科大学看護学部 家族看護学部門講師 佐藤利憲先生による「グリーンケアへの理解を深める」と題しました講演会に、病院職員はもとより外部関連施設であるみどりの郷の職員の方々にも多数参加して頂くことが出来ました。

皆様のご協力により、大変充実した研修会となりましたこと感謝いたしております。

がん看護チーム代表 橋本 淳子



マラソンに参加して

走ることが大好きな私は、昨年11月に開催された「湯のまち飯坂・茂庭っ湖マラソン」に参加して優勝しました。この大会は、私が参加したことのあるフルマラソン大会の中で最も高低差のある大会でした。お天気に恵まれ、木々の紅葉とダム景色の中を走るこの大会はたいへん素晴らしかったです。それでも35kmを過ぎてからは足が攣りそうな感覚との戦いでもありました。

また、昨年は二本松病院チームで二本松一周駅伝にも参加しました。同じ病院で働いていてもあまりよく知らない方もいましたが、同じ襷をつないだ駅伝のチームメイトだと思うだけで、仕事上でも親近感・信頼感が増すのは嬉しい事です。

何かと嫌われがち「走る事」ですが、皆さんも健康のために明日へ向かって一緒に走りませんか？今年度は二本松病院の駅伝チームが2チームになるかもしれませんね。

腎センター看護師 鈴木 綾子

編集
後記

何か目標を掲げるときは、「～になりたい」「～をやりたい!」ではなくて、脳を刺激して「～になる。」「～が出来る。」と目標達成のイメージを持つことが大事だと、研究者が言っておりました。みなさんの今年の目標はいかがですか？目標を声に出して、達成のイメージ内容を紙に書き、福の多い一年にしていきたいと思います。

Y・M記